



# 学校だより

平成29年8月28日



9月号

横浜市立港南台第一小学校

Tel:832-0210 Fax:832-7771 Email:y3konan1@edu.city.yokohama.jp

## 自分の生活をつくる

校長 大石 礼子

夏休みが終わり、学校に元気な子ども達の声に戻ってきました。登校する子ども達の表情を見ると「夏休みおわってしまった」という残念な思いや「学校が始まって、久しぶりに友達と会うのが楽しみ」という喜びが伝わってきました。しかし、どの子どもにもこの夏休み中に素晴らしい学びを身につけた自信に満ちあふれ、ひとまわり成長した姿を見ることができました。登校する子ども達を見て、やはり学校には、子どもが一番似合っているなど感じます。

この夏休み中、大きなけがや病気の報告もなく、前期の後半を迎えることができ安堵しております。これも、ご家庭や地域で子ども達を温かく見守ってくださった皆様のおかげだと心より感謝申し上げます。

さて、今年も日本中の野球ファンが楽しみにしていた高校野球が、私たちに感動を与えてくれました。本大会前から話題を集める選手や注目選手が、その期待に応えるかのような大活躍を見ていると、積み重ねてきた力を発揮しようとするひたむきな姿に感動しました。また、ロンドンで開催された世界陸上での日本選手の健闘にも心打たれるものがありました。結果は様々でしたが、あきらめない心を持ち続け、目標を高くもち自分を信じて取り組む姿も素晴らしいものでした。

本校の子ども達にも今年の夏に、目標をもって一生懸命、取り組んで多くの感動があったのではないのでしょうか。区水泳大会や市水泳大会で活躍した人。学校代表で子どもフォーラムに出席した人。育てている野菜や植物の世話や観察に一生懸命取り組んだ人。参加しているスポーツクラブや地域の行事に進んで取り組んだ人。毎朝のラジオ体操に進んで参加した人。また、新しい出会いを通して視野を広げることのできた人もきっといるはずです。そうした、一人ひとりが自分で創り出す“自分の生活”の中に感動は、生まれるのではないのでしょうか。この“自分の生活”を応援し、支えてくださいましたご家庭の皆様、子ども達を温かく見守ってくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。もちろん、予定通りに進められなかった人もいるに違いありません。不十分だったことについては、しっかりと“ふり返る”ことが大切です。これからの成長のバネになっていくはずですよ。

たくさんの感動の体験を積み重ねて、やさしくて、思いやりがあって、責任感が強く、失敗や困難に負けずにたくましく生きる、豊かで広い心をもった子ども達になるよう、全職員で取り組んでまいります。皆様のご理解とともに、ご支援とご協力をお願いいたします。